

## 公衆・公園等トイレの整備について

### 1 目的

区が管理する公衆・公園等トイレは、6割以上が築30年を経過しており、老朽化が進んでいる。また、高齢者等に配慮した便器の洋式化等が求められている。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の開催を契機に訪れる多くの外国人観光客への対応も急務となっている。こうしたことから、区内全域の公衆・公園等トイレの現況調査に基づき整備方針を作成し、順次、トイレ環境整備を行っていく。

### 2 整備の概要

#### (1) 整備方針の作成

区内71箇所の公衆・公園等トイレのうち、便器の洋式化やバリアフリー対応等が必要な53箇所のトイレについて、設備等の老朽度や利用状況、災害時の対応等の調査・分析を行い、トイレ毎の整備内容やスケジュール等をまとめた整備方針を作成する。

#### (2) 優先整備箇所の実施設計

東京2020大会のマラソンで想定されるコースにあるトイレ2箇所（後楽橋際公衆便所、船河原橋際公衆便所）及び「新江戸川公園からはじめる緑と歴史のまちづくり事業」エリア内にあるトイレ2箇所（江戸川公園内公衆便所、江戸川公園内便所）については、整備方針における優先整備箇所と定め、実施設計を行う。

#### (3) 補助金の活用

本事業においては、地域福祉推進区市町村包括補助事業補助金（東京都）及び区市町村観光インフラ整備支援補助金（公益財団法人東京観光財団・平成31年度まで）を活用する。

### 3 今後のスケジュール

平成28年度

- ・公衆・公園等トイレ（53箇所）の調査及び整備方針の作成
- ・優先整備箇所（4箇所）の実施設計

平成29年度以降

- ・優先整備箇所の整備及び便器の洋式化等を進める。